

町道73号線擁壁の排水について問う

答 現場調査を行い、早急に対処する



問 町道73号線の擁壁の排水について雨天時に大量の雨水があり、隣接農地においては常にぬかるんだ状態で野菜が育てられないということの相談があった。現状を確認し、対処できないか。

副町長 現場調査を行い、現状を確認している。早急に対処する。

問 工事期間中に排水の件について説明したが改善されておらず、当時の状況を問う。

副町長 当時の状況を確認したところ、アスファルト舗装工事前の段階で路盤より水が浸透しており、アスファルト

舗装することにより、水抜き溝からの水量が減るものと思われ土のう設置で対応を行ったという経緯がある。

問 工事内容について何う。

都市整備課長 水抜き溝から出てきたところのコンクリート部分に縁石等を設置し、所々に浸透枡を設置していきたいと考えている。

若者就業支援プログラムを

問 沖縄産業開発青年協会と提携し「若者就業支援プログラム」の補助金などを活用で

きないか。

副町長 若者就業支援プログラム補助金の活用の可能性について、今後調査を行う。

問 若者の仕事については定着率が悪く、なかなか仕事が続かないという声が聞こえている。そこで就職を考えている方について建設作業や農作業に必要な11種類の資格が取得できる沖縄産業開発青年協会と連携し、一部費用の負担が出来ないか。

産業振興課長 今把握している範囲で、沖縄市、うるま市の方が既に実施している。そちらの状況、そして活用できる有効な



大城 雅史 議員

財源、またその補助率を調査した上で予算化できるものか判断していく必要がある。

ベチバーの有効活用を

問 イネ科の多年生草木ベチバーの有効活用について問う。

副町長 ベチバーについては畑の土の流出防止及び防風に効果があり、水やり、施肥の必要がなく、成長し刈り取ったものは敷き草として有効利用されている。



イネ科の多年草ベチバー

問 JAと連携し補助金等の活用はできないか。

副町長 NPO法人沖縄グリーンネットワークが実施する補助事業の活用に向け、JAと連携し取り組む。